

公益社団法人 地盤工学会  
**基 準 部 会**  
 平成 24 年度第 3 回 議事録 (案)

担当 仙頭紀明 (幹事)

日時	平成 24 年 9 月 12 日 (水) 14:00~17:00					場所	地盤工学会 会議室	
部長	小島 芳之	○	★理事	竹下 祐二	○	幹事	仙頭 紀明	○
部員	伊貝 聡司	×	部員	長田 昌彦	×	★部員	斉藤 和則	○
★部員	高柳 剛	○	★部員	藤原 照幸	○	部員	平井 貴雄	○
部員	宮田 喜壽	×	部員	吉嶺 充俊	×	部員	利藤 房男	○
オブザーバー	中川 直	×						

★ : H20 年度新任      ○ : 出席予定      ☆ : 出席 (電子会議)      ◎ : 代理出席      × : 欠席予定      △ : 未定

配 付 資 料

資料番号	資 料
資料-24.3.0	平成 24 年度 第 2 回基準部会議事録案
資料-24.3.1	平成24年度基準部の活動に関する資料
資料-24.3.2	平成 24 年予算案及び活動計画案 (平成 23 年度提出用作成資料)
資料-24.3.3	平成 24 年度地盤工学会賞 候補推依頼文書
資料-24.3.4	地盤調査規格・基準委員会WG13 水圧破砕による初期地圧測定法の基準化検討WG構成表
資料-24.3.5	2013 年 ISO/TC190 総会の日本開催提案書
資料-24.3.6	室内試験関連基準の英文化対応リスト
資料-24.3.7	地盤調査関係改正基準案 (全体の構成表及び修正基準の対比表)
資料-24.3.8	「技能試験実施検討WG」に関する資料 (9/12バージョン)
資料-24.3.9	理事会 (7/27) 開催報告資料
資料-24.3.10	地盤工学表記法委員会報告資料 [8月10日議事録案]
資料-24.3.11	会員からの質問の回答 (室内試験規格・基準委員会, 「土質試験-基本と手引-」)
資料-24.3.12	地盤調査規格・基準委員会報告資料 [8月22日議事録]
資料-24.3.13	「地盤調査の方法と解説」改訂版最終原稿確認依頼書
資料-24.2.14	
資料-24.2.15	
資料-24.2.16	
資料-24.2.17	
資料-24.2.18	
回覧資料	これまでに実施した室内試験関係基準の英訳案 (7 件分)

1. 前回議事録の確認

(資料-24.3.0)

議事録を承認した。

2. 全体関係

(1) 会長からの提案 継続審議

(2) 平成 24 年度基準部の活動について

(資料-24.3.1)

基準部 HP の情報 (名簿, 議事録等) が更新されていないとの指摘があったため, 更新をすることになった (事務局, 高柳委員)。公開用の議事録は, 議事録確認のメール審議を経て部会で承認した議事録をベースとする。ただし公開に不都合な部分があれば, メール審議の際に幹事に連絡することになった。

中期アクションプランにある「赤本・青本は原則 5 年ごとに改訂する。」について議論があった。5 年毎の JIS 改訂に合わせて規格・基準の内容見直し (変更無しの場合の確認作業を含む) を行い, 迅速・着実なメンテナンスに努めるべきであるとの意見があった。一方で, 赤本・青本の 5 年毎の出版について議論があった。原則 5 年を守るためには, 出版の形態の変更, 変更箇所のみ販売する方法なども検討しなければならないとの意見があった。規格・基準の 5 年毎のメンテナンスと出版事業は切り分けて考えてもよいのではないかとの意見があった。

最新基準の英訳の課金方法と価格について今後議論を進めるため, 学会の既存の web 課金システムでの対応の可能性, 他学協会の基準販売の価格設定に関する資料を事務局で作成し, 次回部会で議論することとなった。

(3) 平成 25 年予算案作成及び活動計画の作成

(資料-24.3.2)

・ここ 2 年マイナス予算になっている (学会全体で) ので, 収支ゼロベースの予算が組めるよう努める。

平成 25 年度第 1 次収支予算案提出の締切りは 10 月末である。予算案作成のために, 各委員会の 25 年度事業方針・事業計画において支出を伴う行事, 企画を事務局に報告する。併せて, 委員会費を積算するためのファイルを事務局より送付するので, 委員会, WG (新設 WG があれば追記) の開催回数を記入いただきたい。

(4) 平成 24 年度地盤工学会賞 候補ご推薦のお願い

(資料-24.3.3)

基準部の活動で地盤工学会賞候補に推薦すべきものがあれば, 幹事・事務局に 9 月末までに連絡をする。

3. 委員等の異動

(1) 室内試験規格・基準委員会

(2) 地盤調査規格・基準委員会

・WG13 水圧破碎による初期地圧測定法の基準化検討 WG  
のメンバー構成 (メール審議済)

(資料-24.3.4)

(3) ISO 国内委員会

・ISO/TC190 国内専門委員会

平田 健正 委員長 (和歌山大学) → 和田 信一郎 氏 (九州大学)

理由: 任期満了に伴う交代。

備考: 和田氏はこれまで「SC3 主査」として活動いただいている委員。

「SC3 主査」の作業は継続していただく。

平田先生には, 引き続き委員として活動いただくこととしたい。

委員の交代を承認した。

(4) 地盤設計・施工基準検討委員会

(5) 表記法検討委員会

(6) 部員の異動

4. ISO 国内委員会 関係

(1) 2013 年 ISO/TC190 総会の日本開催 (予備審議)

(資料-24.3.5)

2013 年 9 月開催の TC190 総会を日本で開催することについて予備審議を行った。総会の開催は学会および日本のプレゼンスを高めることから基準部として内諾した (今後メール審議で正式承認予定)。ただし, 学会からの持ち出しが予想されるため, 開催の意義と予算の裏付けがわか

る資料を ISO 国内委員会で作成いただき理事会に諮ることとなった。

## 5. 地盤工学表記法委員会 関係

特になし。

## 6. 室内試験規格・基準委員会 関係

### (1) 室内試験関連基準の英文化

(資料-24.3.6, (回覧資料))

最新 7 基準の英訳が回覧資料により示された。英訳のクオリティーは満足できるものであり、見直し作業も最小限であったとの報告があった。今回の英訳にかかった費用をもとに、室内試験関連のすべての規格・基準を英訳する場合の費用の概算結果が示された。

## 7. 地盤調査規格・基準委員会 関係

### (1) 地盤調査関係改正基準案

(資料-24.3.7)

すでに公示期間が終了し、会員からの意見にも対応した 58 基準を承認した。

### (2) 「地盤調査の方法と解説」最終原稿

(資料-24.3.13)

地盤調査の方法と解説の解説文を承認した。追加したまえがきとこれまでの原稿ファイルは引き続き既に周知した URL にアップしてあるので、内容以外の修正がある場合には利藤委員、事務局に連絡する。

全体を俯瞰するのに目次があった方が良いとの意見があり、目次(章、節)を事務局より部員に送ることとなった。

データシートは表記法委員会で確認中であり、その結果を次回部会で報告いただくことになった。

## 8. 地盤設計・施工基準委員会 関係

特になし。

## 9. 販売促進 WG

特になし。

## 10. 基準部所管刊行物

特になし。

## 11. その他

### (1) 「技能試験」の実施に関する検討

(資料-24.3.8)

技能試験実施検討 WG より、WG の方針や WG 成果報告のイメージ等、これまでの検討した内容について説明があった。この内容を各委員会で紹介いただき、委員からの意見を WG にあげていただきたいとの依頼があった。

## 報告事項

## 1. 理事会 (7 月 27 日) 開催報告

(資料-24.3.9)

第 5 回理事会議事録について、基準部に関連する項目を中心に部長より説明があった。

## 2. 全体関係

## 3. 部会・委員会関係

### (1) ISO 国内委員会

#### ① 平成 24 年度 ISO 対応活動費の資金援助要請に関する経過報告

(相手先)	(金額)		報告書の有無	(納期)	
	助成	受託			
・土木学会	100 万円		○		
・三菱総合研究所 (回答作成)	70 万円		○		
・三菱総合研究所 (重点TC旅費)	3 件		○		
・日本建設業連合会	100 万円		○		

・三菱総合研究所(国際標準開発事業)		450万円	○		
小計	170万円+3件	450万円			
合計	620万円+3件				

(2) 地盤工学表記法委員会

- ① H24 第3回委員会(8月10日開催) 報告 (資料-24.3.10)  
第2回委員会の議事録が示された。

(3) 室内試験規格・基準委員会

- ① 「土質試験-基本と手引き」の記述内容に関する問合せ(回答) (資料-24.3.11)  
土質試験基本と手引きの記述内容に関する問い合わせ(2箇所)とその後の対応について報告があった。

(4) 地盤調査規格・基準委員会

- ① H24 第2回委員会(8月22日開催) 報告 (資料-24.3.12)  
英訳については、24年度に計上した予算内で着手する。次回部会で具体的な基準のリストを提出する。  
JIS化すべき基準の優先順位について、地盤調査・規格基準委員会より報告があった。  
室内試験・規格基準委員会でも同様の調査を行って、次回部会で報告いただくことになった。

(5) 地盤設計・施工基準委員会

(6) 販売促進WG

(7) 英文HP

4. 日本工業標準調査会 土木部会

●H24年度 基準部関係委員会開催状況

委員会名		委員会開催日, 太字は次回開催日
基準部会	小島 芳之	5/17, 7/18, <b>9/12, 11/20</b>
ISO 国内委員会	大谷 順	6/19
・WG1 ISO/TC182 対応	木幡 行宏	
・WG2 ISO/TC190 対応	平田 健正	
TC190/SC3/WG10 対応 WG	坂井 宏行	6/14
・WG3 ISO/TC221 対応	宮田 喜壽	
室内試験規格・基準委員会	古関 潤一	7/15
・WG1 物理特性	(小口秀俊)	
・WG2 化学特性	乾 徹	
・WG3 透水・圧密特性	(藤原照幸)	
・WG4 力学特性	(塚本良道)	
・WG5 安定化・締固め特性	(阿部哲生)	6/11
・WG6 ジオシンセティックス	椋木 俊文	
・WG7 ベンダーエレメント試験基準化	山下 聡	
・WG10 「土質試験-基本と手引き-」改訂編集 WG	大島 昭彦	
・WG12 動的試験基準検討 WG	伊藤 洋	

地盤調査規格・基準委員会 ・WG1 物理探査・検層（第3編） ・WG2 ボーリング・サンプリング（第4,5編） ・WG3 地下水（第7編） ・WG4 サウンディング（第6編） ・WG5 載荷試験（第8編） ・WG6 現場密度試験（第9編） ・WG7 現地計測（第10編） ・WG8 環境化学分析のためのサンプリング（第11編） ・WG9 地盤調査の計画、資料調査・地質調査（第1,2編） ・WG10 地盤環境調査（第12編） ・WG11 動的コーン貫入試験方法基準化WG ・WG12 地盤調査-基本と手引-J改訂編集WG ・WG13 水圧破砕による初期地圧測定法の基準化検討WG ・WG14 単孔を利用した地下水流向流速測定方法の新規基準化WG	谷 和夫 松島 潤 正垣 孝晴 中村 裕昭 田中 洋行 細野 高康 三嶋 信雄 上野 将司 平田 健正 木谷日出男 稲垣 秀輝 大島 昭彦 日比 義彦 伊藤 高敏 進士 喜英	5/7, 8/22, 12/7  4/18, 8/8, 11/29 4/20 5/25 8/1  5/9, 8/27, 10/31 7/19, 10/22 10/3～5の1日 8/8, 10/11, 11/29
地盤設計・施工基準委員会 ・WG1 土構造物 ・WG2 杭の水平載荷試験 ・WG3 グラウンドアンカー ・WG4 サンドコンパクションパイル工法 ・WG5 地山補強土	北詰 昌樹 本城 勇介 中井 正一 山田 浩 寺師 昌明 龍岡 文夫	4/23, 7/5, 9/26
地盤工学表記法 ・WG-A	大島 昭彦	4/17, 6/14, 8/10, 10/11

## 5. その他

- 1) 理事会（平成24年 9月 28日（金））への審議事項・報告事項
- 2) 総務部会（平成24年 10月 9日（火）開催予定）への提案事項
- 3) 次回以降の部会開催日

- ・ 24年度第4回：平成24年 11月 20日（火）14:00時～  
（対応理事会 H24.11.30 or H24.12.19（書面））
- ・ 24年度第5回：平成25年 1月 11日（金）14:00時～  
（対応理事会 H25.1.25 or H25.2.20（書面））

☆ 平成24年度 理事会・運営連絡会議 開催日程（予定含む）

### ◎理事会

- ① 4月 27日（金） ※書面審議
- ② 5月 14日（月）
- ★ 6月 13日（水） 総会/理事会
- ③ 6月 20日（水） ※書面審議
- ④ 7月 27日（金）
- ⑤ 9月 28日（金）
- ⑥ 10月 24日（水） ※書面審議
- ⑦ 11月 30日（金）
- ⑧ 12月 19日（水） ※書面審議
- ⑨ 1月 25日（金）
- ⑩ 2月 20日（水） ※書面審議
- ⑪ 3月 15日（金）

- 
- ⑫ 4月 24日（水） ※書面審議
  - ⑬ 5月 17日（金）
  - ★ 6月 13日（木） 総会/理事会